

令和6年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書／事後評価書

団体名	公益財団法人守山市文化体育振興事業団
施設名	守山市市民文化会館(守山市民ホール)
内定額	2,219 (千円)

1. 基礎データ

(1) 開館日数・事業本数・貸館日数

項 目		令和5年度	令和6年度
開館日数		301	306
年間事業本数（※1）	主催事業	37	35
	公演事業	1	2
	（内、本助成対象事業本数）	0	0
	人材養成事業	1	1
	（内、本助成対象事業本数）	0	0
	普及啓発事業	29	21
	（内、本助成対象事業本数）	9	10
	その他 内容： もりやま市民カレッジ他	6	11
貸館日数	ホールごとの貸館日数	360	337
	ホール名：大ホール 座席数：1300	180	150
	ホール名：小ホール 座席数：300	180	187
	ホール名：記入してください 座席数：記入してください		
	ホール名：記入してください 座席数：記入してください		
	ホール名：記入してください 座席数：記入してください		

※1 事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

(2) 施設利用者数・利用率

項 目		令和5年度	令和6年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数	10,600	14,539
	公演事業	600	2,445
	人材養成事業	300	622
	普及啓発事業	4,500	7,176
	その他 内容： 記入してください	5,200	4,296
	貸館事業入場者・参加者数	130,000	113,161
	その他 内容： 記入してください	9,000	30,000
	計	149,600	157,700
施設の利用率(%)		85.0%	79.5%

※2 実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設(美術館、図書館等)のみへの入場者数は除きます。

(3) 公演事業データ

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	入場者・参加者率	事業本数内訳						
						演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合(※4)	その他
令和5年度	主催公演(※1)	1	1	600	50.0%							
	共催・提携公演(※2)	7	11	7,300	70.0%	2	3		1		1	
	貸館公演(※3)	1	2	2,000	77.0%					1		
	計	9	14	9,900								
令和6年度	主催公演(※1)	2	2	2,445	94.0%		2					
	共催・提携公演(※2)	20	24	19,051	67.0%	2	12	4		1	1	
	貸館公演(※3)	1	1	1,232	94.0%		1					
	計	23	27	22,728								

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「貸館公演」における「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は概算で構いません。
※4 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

2. 公演事業の実績記録と自己評価

(1) 各公演事業における 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標(値)

・ 令和6年度助成対象事業のうち公演事業について、助成対象事業ごとに自己評価を記入してください。

事業 番号	事業名	入場者数	入場 者率	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	評価	備考
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								
		目標 値								
		実績 値								

3. 自己評価

評価項目①:創造性・企画性

評価の観点
・(企画力)地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・(制作力)優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・(発信力・影響力)圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・(レジデントカンパニー・アーティスト)当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら、事業類型ごとに自己評価を記入してください。

	評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
公演事業						
人材養成事業						
普及啓発事業	・参加者の反応 ・新規来館者数	アンケート回答者の80%以上が「大変良かった」「良かった」と回答 アンケート回答者数の30%以上が「初めて来館」と回答	【参加者の反応】 ・ルシオールAKF夏の思い出・・・94% ・ルシオール街かどコンサート・・・88.1% ・ルシオール音楽塾・・・86.3% ・旅への誘いコンサート・・・82.5% ・ルシオールクラシックス・・・83.6% 【新規来館者数】 ・ルシオールAKF夏の思い出・・・22% ・ルシオール街かどコンサート・・・40.8% ・ルシオール音楽塾・・・22.6% ・旅への誘いコンサート・・・15% ・ルシオールクラシックス・・・25.5%	・普及啓発事業5事業すべてにおいて、アンケートにおける「大変良かった」「良かった」の回答が80%以上となり、目標を達成することができた。 ・新規来館者数については「街かどコンサート」は達成できたが、他の4事業については達成することができなかった。「ルシオール音楽塾」、「旅への誘いコンサート」はアンケート結果からもリピーターが多く新規来館者が低い結果となった。ターゲット層に応じたPR方法を工夫する必要がある。 ・アンケート結果からも各事業において、「地域性」と「芸術性」を両立させた企画を提供することで、住民ニーズに即した特色ある内容であった。特に、「ルシオール街かどコンサート」では地域公民館との連携を深めた結果、地元職員による細やかなPR活動が功を奏し、満席・定員超過の回が多数発生するなど、大きな反響を得た。 「ルシオールAKF夏の思い出」も94%という高い満足度を示しており、内容構成に対する参加者からの評価の高さがうかがえる。「ルシオール音楽塾」では新規来館者が比較的少なかったものの、既存の来場者に向けた企画としては完成度が高く、深い芸術体験を提供した点は評価に値すると考えている。	◇いずれの事業においても参加者の満足度は高く、目標値を上回る成果をあげた。地域の人々に喜ばれる事業を展開したと認められる。 ◇特に普-2「ルシオール街かどコンサート」では、会場となった公民館職員との連携が功を奏し、多数の新規来場者を得た。今後も、地域の各施設・機関との連携を密接なものとしていかれるよう期待したい。 ◇普-1「ルシオールAKF夏の思い出」もまた、地域の方々とともに盛り上げていたイベントであった。プログラムもバラエティに富んでおり、地域の子供たちに喜ばれる内容となっていた。有料コンサートへの参加者誘導がより効果的に行われれば、なお一層の成果をあげたことと思う。秋か夏の開催時期の選択と併せて検討が望まれるところである。 ◇普-3「ルシオール音楽塾」、普-4「旅への誘いコンサート」、普-5「ルシオール・クラシックス」は、いずれも高い芸術性と親しみやすさを兼ね備えた息の長い事業であり、守山市民ホールとしての特色がよく表れているものと認められる。	新規来館者数率をあげるために、SNSの活用や事業周知に係関係機関とも連携を取り、さらに広報活動を充実させる。また、実施内容(プログラム等)も、市民のニーズを汲み取り、それに寄り添った内容で実施する。

(2) 「創造性・企画性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

・ルシオール街かどコンサートでは4回開催したうちの3回が満席となり、vol.27では2回とも定員を大幅に上回る来場があり、評価指標における新規来場者数も40%と目標値を達成することができた。この成果の背景には、開催地の公民館職員の方々が事業の趣旨に強く賛同し、地域住民に向けて積極的かつきめ細やかなPR活動を行ってくださったことが挙げられる。地域に根ざした発信と連携が、来場者数の増加に直結したと結果と考えられる。また、来場者アンケートや現地職員からの報告によると、「今後も地元で開催してほしい」との要望が多く寄せられており、地域で高い芸術性を維持しつつ、親しみやすい形で文化芸術を提供するニーズが明確に確認された。これは、事業の企画段階で「敷居の低さ」と「質の高さ」の両立を意識した構成が功を奏した結果であり、創造的な事業設計の成果といえる。
--

評価項目②:国際性(任意)

評価の観点
・(国際プレゼンスの向上)海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流)アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組)在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

(2) 「国際性」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

評価項目③:地域文化拠点機能

評価の観点
・(文化拠点)地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携)地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供)次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。 ・ホール利用サービス(貸館事業)の向上 ※ ・自由設定の観点(任意)

※ ホール利用サービス(貸館事業)を行っていない場合は不要

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評定	所見	対応・追加情報など
・子ども向け事業【ルシオールAKF 夏の思い出】 ①入場者数 ②顧客満足度 ③子どもたちのコメント	①入場者数目標 大ホール:450人、小ホール:100人 ②観客満足度 アンケート回答者の80%以上が事業全体について「大変良かった」「良かった」と回答 ③子どもたちのコメント 子どもの満足したコメントを集める	【入場者数】 大ホール:175人、小ホール:95人 【アンケートの回答】 大変良かった・・・86% 良かった・・・8% 【こどもたちのコメント】 <来場者> ・一緒に歌って楽しかった ・きれい、すてきなえんそうありがとう ございました。 ・うちに習字、初めてで楽しかった ・人形劇がおもしろかった ・楽器のこととメロディーの重なりを感じる ことができました。それぞれの音 がキレイにひびいていました。 <ピアノカ参加者> ・さいしょはむずかしくてうまくでき かわからなかったけど、本番はうまく できてとてもうれしかったです。またさ んかしたいです。 ・ピアノカたいになれてとてもうれしい です。来年もさんかしたいです。	・大ホール公演については、目標を達成することができなかった。小ホールは概ね目標を達成することができた。有料公演の観客減は物価高の影響や、ロビーでも鑑賞無料公演をしている影響が考えられる。 ・アンケートの回答結果、「大変良かった」「良かった」は目標の80%を達成することができた。 ・子どもたちのコメントもおおむね好評な声を聴くことができた。 ・本事業全体としては、大・小ホール、ロビー、展示室、屋外スペース、学習室を活用し、多彩な公演やワークショップ、体験型コンテンツを展開することで、地域の文化拠点としての機能を発揮した。クラシック音楽やささまざまなジャンル実演芸術の鑑賞に加え、茶道・書道・花道といった地域文化体験を通して、多世代が集い、文化を「楽しむ・学ぶ・つながる」空間が創出された。 ・守山市文化協会提供の教室、地元店舗が出展するマルシェなど、地域の文化・商業資源との連携により、地域密着型の運営がなされた。特に「なかよしマルシェ」では、地元店舗が出店し、文化イベントと経済活動の融合が実現された。公演やワークショップのPRも地域関係者の協力によって広がりを見せ、地域全体での共創が図られた。 ・0歳から参加可能なコンサートや、茶道・花道などの体験教室を通じ、子どもたちが芸術文化に触れる機会を数多く提供した。アンケートや子どもからの感想では「たのしかった」「またやりたい」といった声が多数寄せられ、鑑賞だけでなく、体験型活動が大きな効果をあげたことが確認できる。	◇普-1「ルシオールAKF夏の思い出」は、守山市文化協会などの地域の関係団体や地元店舗の参加も得て、地域のフェスティバルとして活況を呈した。市の掲げる政策「守山市文化振興アクションプラン」にも沿った事業であり、街ぐるみで子供たちを大切にしているようすが伺われるイベントであった。 ◇同申請事業は、多数の親子連れで賑わい、参加者の満足度も極めて高い数値を記録した。今後もこの高い満足度を維持しつつ、地域の恒例行事として継続していかれるよう期待したい。 ◇有料公演として開かれた2つのコンサートのうち、特に大ホール公演は集客に苦しんだようであるが、より魅力的なコンサートとしてアピールしうるよう、いろいろな角度から検討を加えていただきたい。 ◇普-1以外の公演についても、地域の特性とクラシック音楽の魅力をリンクさせるさまざまな取り組みが見られ、地域文化拠点としての機能を発揮すべく尽力されているようすが認められる。	「ルシオールAKF夏の思い出(秋開催の際にはルシオールAKF秋色)」は令和6年度までは主に0歳から小学生向けを対象としていましたが、令和7年度からは様々な方に参加していただきたく、また障がいがある方の文化芸術活動の推進・支援の取り組みとして、「ルシオールインクルーシブフェスティバル(仮)」として開催します。(2025年11月23日開催予定) 「ルシオールインクルーシブフェスティバル(仮)」は、守山市と守山市社会福祉協議会が実施している「もりやま地域共生大会」と「ルシオールAFK」を組み合わせ、さらに守山市内各団体にもご協力いただき、今までのルシオールAKFのコンサートや文化体験教室にプラスして、ユニバーサルスポーツ体験、障害疑似体験や福祉関係の展示会等の内容で計画を進めています。

(2) 「地域文化拠点機能」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

ピアノワークショップの参加者は、年齢も地域も異なるこども達がワークショップを通じて、子どもたち同士の交流が生まれ、当日に向けて子どもたちが衣装をそろえる工夫を自発的に行ったことから、単なる演奏練習にとどまらず、「一緒にステージを作り上げる」という意識が芽生えていた。また参加者の声からも、「挑戦 → 成功体験 → 自信につながった」という成長プロセスが見て取れた。
--

評価項目④:多様性とアクセシビリティ

評価の観点
・(プログラムの多様さ)プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・(参画者の多様さ)アーティストやスタッフとして参画する人々の属性(性別、年代、居住地、他)が多様である。 ・(アクセシビリティ)障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。 ・自由設定の観点(任意)

(1) 令和6年度の自己評価

- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
・街かどコンサート(アウトリーチ事業) ①参加者満足度 ②参加者のコメント	①参加者満足度 アンケート回答者の80%以上が「大変良かった」「良かった」と回答 ②参加者のコメント ・満足していることが認められるコメントを多数集める	・ルシオール街かどコンサート・・・88.1% 【参加者のコメント】 出演者の衣装もプログラムとリンクしていて、素敵でした。 ・素晴らしかったです！！1才の娘も堪能させて頂きました。 ・どの曲もすばらしかったです。又、初めて聴いたオペラは感動でした。参加してよかったです。 ・親子連れで来られて、短い時間でいただいでいて、子どもが赤ちゃんのころから、自分のリフレッシュにもなっています。若い世代にももっと鑑賞してほしいと思います。 久々に生の声、ピアノを聞けて本当にリラックス、気分転換できた。最近は、体力的にびわ湖ホールへ足を運ぶこともなくなった。近くで、しかも無料で聞けて感謝です。 ・内容も盛り沢山で濃かった。最高です。又聴きたい！レベル高い！！ ・家の近くでのコンサート、うれしいです。次回を楽しみにしています。 ・今回のような無料の公演の機会を多くし、「本物にふれる」楽しさや感動をどの年齢の方にも味わってほしい。 ・それぞれの楽器の音を身近で聴けてうれしかったです。 ・街かどコンサート大変嬉しい企画です。これからも続けて下さいますようお願いします。多くの市民の方に街かどコンサートを知ってもらいたい。	・アンケート回答者の88.1%が「大変良かった」「良かった」と回答しており、目標値である80%を大きく上回る結果となりました。加えて、自由記述による多数の参加者コメントが寄せられ、地域住民からの高い満足度と期待がうかがえました。 ・鑑賞無料で、地域の公民館等を会場とすることで、年齢、性別、子育て中の方、高齢者など多様な参加者が気軽に足を運べる環境を整備しました。小さなお子様連れの来場も想定した柔軟な運営を行い、実際に「短い時間でも参加できて嬉しかった」との声が聞かれるなど、アクセシビリティの観点からも成果があったと考えます。 ・プログラム構成においては、オペラ曲、日本歌曲、童謡の歌唱、弦楽四重奏など多彩なジャンルを取り入れ、音楽ファンから初心者まで幅広い層の関心を引きつける内容としました。選曲や演出に工夫を凝らし、奏者自身による楽しい解説もあり、「初めてオペラを聴いて感動した」「子どもと一緒に楽しめた」といった多様な層からの肯定的な反応が多数寄せられました。	◇普-2「ルシオール街かどコンサート」は、市内4か所の公民館等の施設におけるアウトリーチ事業であり、特に親子連れや高齢者の方々に喜ばれているようすが、参加者のコメントからも認められた。内容的にも優れた演奏であったようであり、高い満足度を示した。守山市民ホールへのアクセスが難しい市民のためには欠かせないサービスであると思われる。 ◇申請事業ではないが、令和3年度から県との共催で実施されている「障害者の文化芸術を支える拠点づくり事業」も継続が望まれる活動である。	満足度も高く、継続して開催を希望する声も多いので、令和7年度以降も引き続き実施すると共に、令和9年度以降改修工事に伴う休館も踏まえて、公民館以外の施設(高齢者介護施設、商業施設など)でも開催できるよう各関係機関とも連携を図る。 「障害者の文化芸術を支える拠点づくり」については令和7年度は「3. 地域文化拠点機能」でも記載したとおり、「ルシオールインクルーシブフェスティバル(仮)」の開催を予定している。また、社会福祉法人グローが障害者芸術文化活動支援センターから補助を受け立ち上げた、『障害者の舞台表現活を支援する『アイサ舞台発表研修実行委員会』に当劇場の館長がメンバーとして参加している。さらに当劇場で令和8年2月の成果発表会を予定している。(グローとの共催)

(2) 「多様性とアクセシビリティ」が向上したことを示すエピソードやグッドプラクティス事例を記入してください。

本事業では、「誰でも気軽に参加できる」ことを重視し、プログラム内容や会場選定、運営体制においてアクセシビリティの向上に努めました。クラシック音楽に日常的に接する機会が少ない方々にも広く門戸を開くことを意識し、日常的にクラシックに触れていない方でも気軽に立ち寄れる環境を整えました。その結果、小さなお子様連れの参加者が多く見られ、中には「子どもがぐずって早めに退席することになったが、少しの時間でも参加できて嬉しかった」という声も聞かれました。また、ヴァイオリンを習っている小学1年生の児童が、演奏された曲と同じ曲を練習中であることから、出演者に声をかけ楽屋で演奏を聴いてもらうという貴重な経験を得る場面がありました。これは現場マネージャーの柔軟な対応により実現し、参加者一人ひとりの関心や状況に寄り添った関係構築がなされている好事例です。本人や保護者にとって非常に印象深く、芸術に対する関心や意欲を育むきっかけとなったと考えられます。

評価項目⑤: 自由設定(任意)

①創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性 の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。

評価の観点

- (1) 令和6年度の自己評価
- 評価補助シートで設定した評価指標と目標(値)、及び、その達成度に言及しながら自己評価を記入してください。

評価指標	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など

評価項目⑥:運営体制と持続可能性

評価の観点		現状	目標(値)	実績(値)	団体の自己評価	所見	対応・追加情報など
「実現性」の評価項目より							
(ア)	(多様な財源の確保)予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。						
(イ)	(広報・営業力)広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。						
(ウ)	(他館連携)他の劇場・音楽堂等との事業連携や協力・支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。						
(エ)	(設置者)円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。						
「持続可能性に関するチェックシート」より							
(オ)	(芸術監督)芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。						
(カ)	(長期的経営)長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。						
(キ)	(専門人材の確保)今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。						
(ク)	(職制の整理)芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。						
(ケ)	(世代間バランス)年齢バランスを考慮した人材確保を行っている(若年層の雇用に努めている)。						
(コ)	(ジェンダーバランス)女性管理職比率が30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。						
(サ)	(ワークライフ・バランス)仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。						
(シ)	(コンプライアンス順守)情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。						
(ス)	(ハラスメント防止対策)職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。						
(セ)	(適正な契約事務)アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。						

4. 総評

・ 団体の自己評価

助成を受けた事業を通じて、地域文化拠点としての機能を一層高めるとともに、地域の多様なニーズに対応した充実した内容を展開することができた。

「ルシオール街かどコンサート」や「ルシオールAKF夏の思い出」では、地域と連携した柔軟な広報活動と高品質なプログラム構成により、新規来館者の獲得や満席・定員超過といった実績を上げ、地域に開かれた文化拠点としての特色を明確に示すことができた。

また、5事業すべてにおいて、アンケート回答で「大変良かった」「良かった」と評価した割合が80%を超え、目標を達成するなど、参加者満足度の高さがうかがえる結果となった。

一方で、新規来館者数の面では、「街かどコンサート」以外の4事業において目標未達となった。「ルシオール音楽塾」や「旅への誘いコンサート」は既存来場者に対する質の高い芸術体験を提供することには成功したが、今後はターゲット層に応じたPR方法の工夫が必要である。

さらに、一部の有料公演では観客数の減少が見られた。物価高の影響や無料公演との競合が一因と考えられ、今後は収益構造の見直しとともに、効果的な広報戦略の強化が求められる。

以上の成果と課題を踏まえ、来年度以降は、地域に根ざした文化拠点としての役割をより一層発展させ、多世代・多様な層に開かれたプログラムの継続とあわせて、新規来館者へのアプローチや柔軟な運営体制のさらなる強化に取り組み、誰もが芸術文化にアクセスできる環境づくりを推進していきたい。

・ 所見

◇申請のあった事業は中止もなく、ほぼ予定どおり実施された。

◇市の文化政策を踏まえてミッションやビジョンが設定されており、申請された5事業との整合性も明瞭である。

◇申請事業以外の事業も含めて、地域の特性やニーズを踏まえたホール運営がなされていると思われ、近隣の関係機関・団体との連携も強固である。

◇令和7年度以降は、吹奏楽の拠点としての活動に重点を置くとのことであるが、これまで継続してきたクラシック音楽を市民に届ける方向性の事業も、少なからぬ愛好者も期待しているであろうし、新しい愛好者を育成していくことも大事であるため、引き続き工夫を凝らして、集客に努めていただくよう期待したい。

◇令和9年度から予定されている大規模改修については、市も幅広く市民の声を取り入れる姿勢で取り組んでいるようであるが、地域の人々に愛されるホールであり続けるよう努めていただきたい。